

産業遺産としての廃墟

—中国における廃墟に対する意識変化のプロセス

XU Xincheng

本論はこれまでの中国における廃墟(産業遺産)に対する意識変化のプロセスを主に文献資料から明らかにすることを目的とする。

「産業遺産」初期の概念は 19 世紀の後半にイギリスで初めて生まれた。そして、2003 年に発表され『ニジニ・タギル憲章』によって産業遺産概念が正式に定義された。中国では、産業遺産の研究が出現する時期は 2002 年。しかし、中国の産業遺産の概念が 2006 年までの『ニジニ・タギル憲章』をサンプルとして作られた「無錫提案」に正式に定義された。これも中国の産業遺産の研究が正式に開始されたことを意味する。また、同年の 5 月に国家文物局は『産業遺産保護の強化に関する通知』(关于加强工业遗产保护的通知)を公表した。これは中国の初の産業遺産に関わる公式文書である。この事件は産業遺産研究の発展における画期的な出来事でもあり、産業遺産研究分野が正式に国の支援と認知を得たことを意味する。そして 2006 年以来、産業遺産の学術の発展と政策の改善により、産業遺産の分野では継続的に問題が発見され、解決されてきている。2017 年には、ついに中国初の国家産業遺産が登場した。2023 年までに『国家産業遺産管理措置』(国家工业遗产管理办法)の公開と共に中国の産業遺産の保護、利用、価値の評価がシステム化され、責任帰属の分担も明確になっていった。以上は中国の「産業遺産」の背景である。では中国はなぜ「産業遺産」を保護し利活用するのか、「産業遺産」がなぜこのように発展しているのか、また、どのような物事は産業遺産の発展に影響するのか。本論は上述の問題を抱えて、「産業遺産」を考察し、検討する。

序章はまず「産業遺産」の起源と背景を紹介した。次に「産業遺産」は中国の発展の現状を説明した。さらに、中国の「産業遺産」の発展に関わる研究を検討し、本研究の目的と独創性を引き出した。最後に、中国における廃墟に対する意識変化のプロセスを考察するために、本論では主に意識が変化したからこそ社会のルールも変化するという仮説を立て、産業遺産に関する事例、学術的な論文、政策及び文書などの社会的ルールに注目して分析し、仮説を検証する。

第 1 章ではまず中国知網(CNKI)上のデータベースを利用し、「産業遺産」というキーワードをも

とに、2002 年 1 月 1 日から 2023 年 11 月 30 日までに発表された 4626 編文献を検索した。そして、検索した文献の数から産業遺産研究の 3 つの発展の時期を明らかにした。さらに、計量テキスト分析ウェブサイト(SATI)を使用し、検索した文献を分析して、文献のキーワードを考察した後、キーワードの頻度の変化を通して、産業遺産の研究の視点の変化は最初の産業遺産の「観光」から、産業遺産の「保護と利活用」へ変化し、最後に、産業遺産の「都市再開発」に注目しているという結論をまとめた。

第 2 章では 1992 年から 2013 年までの「産業遺産の保護と再利用」に関わる事例、政策、文書を考察した。まず、「岐江公園」と「798 芸術区」この二つの事例を通して、最初の産業遺産の保護と再利用に影響を与えた政策を明らかにした。更に、1992 年から 2013 年まで主に民間の学術団体が産業遺産の保護と利活用を行っていた。最後に中国は廃墟(産業遺産)に対する認識がまだ初期の段階であることが明らかにした。

第 3 章では 2014 年から 2023 年 11 月までの「産業遺産の保護と利活用」に関わる事例、政策、文書を考察した。まず、2014 年から、「産業遺産の保護と利活用」は主に中国政府を主導し、行ったことが明らかにした。そして、2014 年から 2023 年 11 月まで、中国は廃墟(産業遺産)に対する認識は 2 つの段階の変化が明らかにした。主に 2014 年から 2016 年までの産業遺産の保護と利活用は「都市再開発」の 1 つの方法であるという認識、及び 2017 年から 2023 年までの産業遺産は中国の産業文化の代表的もの、産業遺産の保護と利活用は産業文化を発展するためであるという認識に変わった。

終章では、本論で得られた結論を整理した。中国における廃墟(産業遺産)に対する意識変化のプロセを明らかにした。まず、2006 まで、中国の政府は産業遺産にはほぼ注目していなかったため、その時期産業遺産の保護と利活用が主に民間の団体が行った。そして、2006 以後、中国の政府は産業遺産の存在を意識したが、2013 年までまだ民間の学術団体が産業遺産の保護と利活用を行った。しかし、2014 年以後、中国の政府は都市の再開発を行った時、産業遺産も利活用できることが意識したので、産業遺産に重要視した。さらに、産業遺産を利活用する途中、産業遺産が代表する中国の産業文化を発見した。最後に、産業遺産を発展することを通して、中国の産業文化を発展する。